

おらDoの協Do!

～人と人が集まり、出会いとつながりが
広がる中で生まれる「おもっせえ」おおつち～

協働による地域・まちづくりを実践し、
人と人との出会いやつながりを生み出
している「おもっせえ」人や活動を紹
介します。みんなやっべし協働!

町長杯健康麻雀大会、吉里吉里国薪まつり、町内花いっぱい運動

「おもっせえ」は誰かにつながる！次につながる！

「おもっせえ」の連鎖

以前このページで紹介した協働によるコミュニティ活動が、その後、さらなる広がり、新たなつながりを生み出しています。

11月20日(日)、大槌町長杯健康麻雀大会が開催されました。

主催した多世代交流健康麻雀会では、麻雀を通じた交流の場づくりとして毎週活動してきましたが、今回、町長杯と銘打った町内大会を初めて開催しました。大会には40人以上が参加し、相手を思いやるマナーに気をつけながら、真剣勝負を楽しみました。



初代の優勝者となった佐藤邦明さんは「みんなで楽しくできるのが一番の良いところですよ。若い人も来ているし、こうやって人がつながっていくのは良いこと。もっとこの輪が広がって

いってほしい」と自身の優勝と大会の盛況を喜んでいました。大会には、全国大会などを通じてつながりを持った盛岡市や宮城県の人たちも参加。盛岡競技麻雀クラブで代表を務める赤井耀司さんは「麻雀を通じて色々な世代がつながって地域のコミュニティができる、素晴らしいモデル。自分たちの目指していることでもあるので、町も一緒になって活動しているのはうらやましい。こうしてつながりができたことが嬉しいし、これからも応援していきたい」と語りました。会員全員が真剣に楽しみ、続けてきた「おもっせえ」活動が、同じ思いの新たな仲間を呼び寄せました。

一人一人が実行委員

10月29日(土)、30日(日)には、第10回目を数える吉里吉里国の「新まつり」が開催されました。恒例の新割りりやピザ作りの他に、洋野町の団体によるモルック体験会(表紙写真)が新たに開催され、初体験のスポーツに夢中になる子どもたちの姿が見られました。

また、11月10日(木)に大槌駅前で行われた、町内花いっぱい運動には、大槌高校やおしゃっちの面々など、新たに参加する団体が増え、この日だけで70



優勝した佐藤邦明さん

人以上が集まり駅前プランターに花を植えました。

どの活動も参加者は笑顔で楽しんでいて「次は何をしようか」「来年はこうやってみよう」といった声が聞かれました。一人一人が楽しみ、自分にとって有意義な活動として取り組むことで、自然とこうした会話が生まれています。

参加者の皆さん誰もが、お客さんではなく、まるで実行委員のような気持ちで次の活動を楽しみにすることは、理想的な協働のあり方の一つといえます。紹介した皆さんのように「おもっせえ」と思いながら取り組む活動は、次の活動や、新しい誰かに連鎖し、広がりながら続いていきます。



花いっぱい運動は70人以上が参加